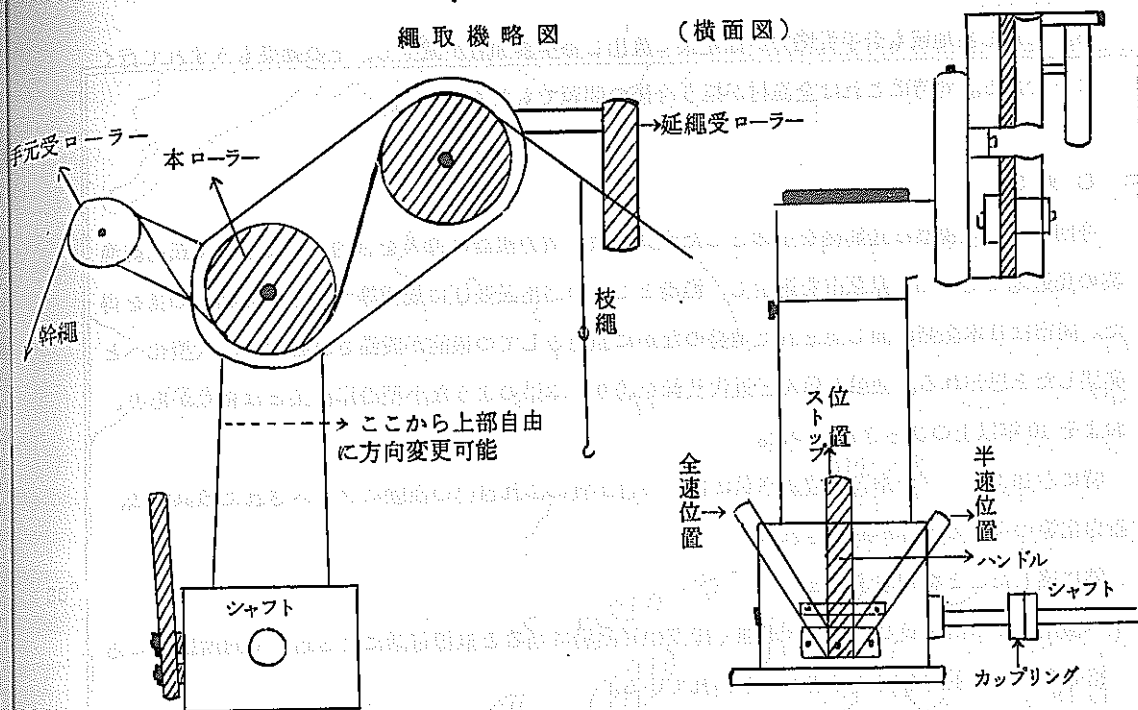


繩取機略図 (横断面)



(1) 繩取機の利点 (萩市地区漁協が繩取機を使用してから)

イ 揚繩の際の重労働が軽減される。

ロ 人手で揚繩の時間は普通3鉢の所要時間は25分～30分もかかっていたのが15分で揚繩でき岩礁砂泥、いずれの海域でも操作可能で平均速度で揚繩でき漁具の損耗も従来の人手の場合とほぼ変りない。

ハ 年寄りの人でも何の変りもなく1人前の仕事ができる。

ニ 1トン未満の小型船でも装備ができる利点がある。

(2) 応用

本県ではナイロンテグスでありすべり止(生ゴム装置)だけで繩押えなしの使用が可能である。

ハ 経営

経営についてはすべて単船経営であり賃金形態は最低賃金制がとられ1ヶ月5万円最低保障されている。乗子の配当方法は大仲経費(燃料、餌料、賄費、消耗品代等)を差し引いた金額について、乗子70%船主30%の率で分けられ、漁業純利益の分配は月々ごとに分配されず漁協に預託し、3ヶ月ごとにボーナスとして乗子に支給されている。これは船主が乗子確保ということからとられた措置であると思われる。なお高率の年間給与は最低保障を含み税差引きで年118万円程度でありある程度優遇されている。

後継者育成には漁協も力をいれ、25才未満の漁村青年育成のため青年の家が各地区ごとに設置され、団体生活をとおしながら水産一般から道徳教育などの研修の場を造り育成につとめてい